

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ひかり作成日: 令和 7 年 11 月 28 日

## 目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6・7	身体拘束・虐待防止の取り組み	身体拘束、虐待防止について、職員間で常に話し合い、利用者がホームの中で、安心して安全に生活出来る環境整備に取り組んでいく。	身体拘束委員会、虐待防止委員会が中心になり、朝、夕の申し送り時に職員間で話し合い、身体拘束、虐待防止ゼロに向けて取り組んでいく。	12ヶ月
2	15	職員を育てる取り組み	新型コロナ5類移行になったが、毎日利用者の健康管理と心のケアに神経を使いながら取り組んでいる職員一人ひとりの体調に気を配り、職員のストレスチェックに取り組んでいく。	管理者との個人面談を頻繁に行い、職員の不安や悩み、要望を聴き取り、勤務体制や職場環境の見直しを行い、職員一人ひとりがゆとりを持って仕事出来る体制を目指していく。	12ヶ月
3	5	運営推進会議を活かした取り組み	新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたので、対面方式の会議を再開しているが、会議のメンバーの増員と会議の内容が報告会になっているので、参加委員にとっても魅力的な会議運営になるように検討していく。	年々参加委員が減少傾向にあるので、元家族や知見者、地域住民代表、歯科衛生士、薬剤師に参加要請して、ホームの課題だけでなく、地域の問題や高齢者の相談等にも、取り組める会議運営を目指していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。